

平成22年2月23日（火）
愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課
新型インフルエンザ対策室
担当 照井・増野 内線 3160・3297
（ダイヤルイン）052-954-6272

オセルタミビル（商品名：タミフル）に耐性を示す遺伝子 変異を有する新型インフルエンザウイルスについて

本日、新型インフルエンザの感染が確認された患者（10歳女児）から、オセルタミビル（商品名：タミフル）に耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザウイルスが確認されました。

なお、厚生労働省によるとオセルタミビルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

また、報道に際しては、患者のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問い合わせは控えていただくようお願いします。

1 検査結果

愛知県衛生研究所の遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性を示す変異遺伝子と感受性遺伝子の混在が確認されました。（平成22年2月8日判明）

国立感染症研究所において詳細な検査を行ったところ、当該ウイルス検体には耐性株と感受性株が混在しており、薬剤感受性試験においては、オセルタミビルに感受性があるとの検査結果となりました。なお、ザナミビル（商品名：リレンザ）についても、感受性があることが確認されました。（本日判明）

参 考

耐 性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。

感受性：薬剤が有効に作用すること。

2 新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）患者の概要・経緯

年 齢	10歳
性 別	女
住 所	一宮市
主症状	発熱（39℃）、下気道炎

経 緯	11月20日	一宮市内のA医療機関を受診。簡易検査の結果、A型陰性。呼吸障害が認められたため、一宮市内のB医療機関へ救急搬送され、そのまま入院。簡易検査の結果、A型・B型とも陰性。タミフル投与。
	11月24日	検体採取。
	11月25日	症状軽快。退院。
	12月1日	B医療機関を再受診し、快復を確認。
	12月24日	愛知県衛生研究所において新型インフルエンザウイルスを分離。

3 その他の検査状況

- (1) 現在までのところ、愛知県衛生研究所において実施した 142 例の遺伝子解析において、本例を含め 3 例のオセルタミビルに耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザウイルスを確認しております。
- (2) 全国では 49 例目の検出例となります。県内では 5 例目となります。

本件は、平成 21 年 10 月 8 日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について（改訂版）」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により薬剤耐性を確認したことから公表を行うものです。